

琉球大学教授職員会ニュース第137号

2012年7月27日総会終了／オスプレイ配備反対緊急決議

琉球大学教授職員会 <http://www.cc.u-ryukyu.ac.jp/~kyoshoku/>

会長：高良 鉄美（法科大学院） 副会長：新城 竜一（理学部）

事務局：中城口信号角 内線 2023 E-mail kyoshoku@eve.u-ryukyu.ac.jp

総会が無事終了しました。

会員の皆さん。暑い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。きっと学期末で忙しいことでしょう。

大学当局による強引な給与の大幅削減がとうとう実施されてしまいました。給与明細書を見て本当にガッカリしてしまいました。今回の大学当局の給与削減の実施方法（就業規則の改正）は、これまで労使で築き上げた信頼関係を踏みにじる暴挙と言わざるをえません。教授職員会は、この問題を諦めずにさらに追及していく覚悟です。

さて、7月27日（金）の18:30から理学部114教室において総会が行われました。当日の議案書については、後日、教授職員会のホームページに載せていきたいと思っています。

オスプレイ配備に反対する緊急決議

総会では「オスプレイ配備に対する抗議」についても緊急に決議されました。抗議決議文は野田総理大臣と森本防衛大臣へ送りました。8月5日には宜野湾市のコンベンションセンターで「オスプレイ配備に反対する沖縄県民大会」が予定されていましたが、台風11号の接近のため延期となっています。新たな日程は調整中のようです。裏ページには総会で決議した抗議文を載せます。

新執行部にご協力をお願いします。

総会終了をもって、2012年度の新執行部が走り出しました。旧執行部としての教授職員会ニュースの発行も今号が最後となります。会員の皆さんに助けて頂きここまで何とかやってきました。ありがとうございました。給与の大幅削減に関わる交渉では、大学当局から何らの譲歩も引き出せなかった点は非常に残念で悔いが残ります。しかしこの問題は、秋の補正予算の審議次第で、文科省が琉大にどれくらいの運営費交付金の減額を行うのか、今後も注視していくことが必要です。もちろん、今回の当局の対応は厳しく追及していく必要があります。自主的・自律的な労使関係が構築できるよう、当局に強く求めていきます。

以下が新執行部と代議員の先生方です。皆様のご意見をぜひ新執行部や代議員にお寄せ下さい。

法文ブロック：阿部 小涼（庶務主任），高田 清恵，山元 淑乃

教育ブロック：辻 雄二（副会長），望月 道浩（執行部），伊藤 彰英，加藤 好一

理学ブロック：新城 竜一（会長），中村 衛（HP管理），賀数 清孝，田中 淳一

工学ブロック：金城 光永（会計主任），石川 正明，長田 智和

農学ブロック：谷口 真吾（企画主任），小西 照子，亀山 統一

医学ブロック：仲宗根 昇

監査委員：久高 将晃，渡嘉敷 健

内閣総理大臣 野田 佳彦 殿
防衛大臣 森本 敏 殿

オスプレイ配備に対する抗議決議

オスプレイ MV22 は現在、山口県岩国基地で陸揚げ作業が終わり、プロペラを回転させて、起動している状態である。岩国で点検作業を本格的に始め、試験飛行を終えた後は、沖縄の普天間基地に配備する予定であることを政府はすでに表明している。

沖縄は、去った大戦で、悲惨な地上戦を経験した。その後は米軍による占領、統治の下で県民の人権が蹂躪されてきた。1972年の復帰の際も、基地の大幅縮小を訴えた県民の願いとは裏腹に、日米両政府の思惑で、広大な米軍基地は残り、40年たった現在もほとんど変わっていない。

平和憲法の下への復帰を願った県民の気持ちは、二度と戦争や軍事問題で苛まれたくないという強い思いであった。憲法は前文で「恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを確認」している。また、憲法は13条において、「生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利」については、「国政の上で最大の尊重を必要とする」と述べている。

オスプレイは事故が多く、最近でも4月、6月に兵員が死傷する墜落事故を起こした危険極まりない欠陥機であるだけでなく、深刻な低周波被害を引き起こす問題をも抱えている。沖縄へのオスプレイ配備は、沖縄県民の生命を脅かすことになるのは明白であり、それを知っていて配備を強行しようとすることは、憲法の理念に反する政府の行為である。

政府は、「沖縄の負担軽減」を謳いながら、沖縄県民の命を差別的に軽く扱っていると言ってよい。日米両政府が、普天間返還を口にして、16年が過ぎたが、その間2004年8月には、沖縄国際大学に米軍ヘリが墜落爆発炎上した。本学の上空でも米軍ヘリが飛んでおり、同様の危険にさらされている。

政府は、現在沖縄本島北部の辺野古や高江にも基地やヘリパッドの建設を強行しようとしている。オスプレイは、普天間だけでなく、これらの場所にも配備を計画されており、沖縄中が危険にさらされることになる。

私たちはこのようなオスプレイの沖縄配備に強く反対し、日米両政府が、沖縄へのオスプレイ配備を撤回するよう強く求める。

以上

2012年7月27日 総会決議

琉球大学教授職員会

